

令和3年7月19日(月) 9:30~10:20

市会棟にて

先方：[REDACTED]、花上議員、今野議員

当方：関森

- 市大ではなく、市に話を聞いてもらいたい。
- 市大メールの文面によって傷つき心を痛めている。
- 連絡がつかない状況が続いているとの文面は、間違いである。
- 市大が市の意向を受けて発出したものではないかと疑いたくなる。
- 市大に対して訂正と謝罪を求めたい。
- 市から市大に指示できないのであれば、市大に伝えてもらいたい。

令和3年7月21日(水) 13:00~13:20

市会棟にて

先方：[REDACTED]、今野議員

当方：市大 上野副局長、政策局 関森

- 市大が、教職員に対してメールを発出した経緯についての説明は知らない。
- 市大メールの文面によって心を痛めている。
- 連絡がつかない状況が続いているとの文面は、間違いである。
- 市大が市の意向を受けて発出したものではないかと疑いたくなる。
- 市大に訂正と謝罪を求める。
- 市大として再考してもらいたい。

市大メール (6月16日 (水) 11:15 発出) に関する先方の主張 (第3報)

令和3年7月24日 (土) 8時~8時30分

市会棟にて

先方: [REDACTED] 今野議員

当方: 小山内理事長 上野

- ◆7月21日付け文書に学長の名前が入っていないのはおかしい
- ◆学長名も必ず並べていただきたい
- ◆今回 (7/21) の文書は、本人に謝罪している文書ではない
- ◆この文書に誠意が感じられない
- ◆管理職のみならず全職員 3000 人に文書を送付した影響は大きい
- ◆受け取った教職員は、理事長学長が市に配慮したものだと言っている
- ◆上司である林市長を付度し、対立候補の活動を妨害するものだ
- ◆一部の教職員はこのメールを見て心を痛めている
- ◆(自分から見せていないが) 文書の内容について、党の先生方からも問い合わせがあった。
- ◆理事長には月曜日の午後には情報が入っていたはずだ、そこから 1 回でもコンタクトを試みていない
- ◆市民に SNS やインターネット上で理事長・学長の不誠実を知ってもらった方がよいとも考える
- ◆コンプライアンス違反で訴え厳正に対処することも考えている。
- ◆少なくとも、再度、作成する文書には、次の事項を入れていただきたい。
  - ・教職員の皆さんにあたかも市の意向を受けたメール文書を発出したが、決してそのような意図はないこと
  - ・連絡がつかず、あたかも長い間行方不明だったかのような記述は誤りであること
  - ・林市長の指示と捉えられる部分があったが、そのような事実はないこと
  - ・管理者として極めて遺憾な行為であったこと
- ◆文案が完成したら、今野議員を通じて、事前に見せること

令和3年7月21日

教職員の皆様へ

理事長 小山内 いづ美

令和3年6月16日に皆様に発出した文書  
「今朝(6月16日)の新聞報道について」について

大学は間もなく夏休みを迎えますが、教職員の皆様には日々のお忙しいことと、暑中お見舞い申し上げます。

さて、上記文書につきましては、教職員の皆様には、市大教職員の選挙活動に関する服務規程についてお知らせし、横浜市公立大学法人としての立場をお伝えしたものです。

しかしながら、このたび、6月末日で退職された山中元教授におかれまして、この文書の表現について、たいへん心を痛めておられることがわかりました。

この文書につきましては、あくまでも市大の服務規程をお知らせすることを目的とするものですので、その以外の意図はございません。

これまで、私からも、山中元教授の研究成果及びご実績について高く評価し、感謝の意を学内外へ伝えてきたところです。

山中元教授にご迷惑をおかけしましたこととお詫びし、このことについて、教職員の皆様にもお伝えいたします。